



114
A 9618
2

集會及政社法

第一條 此ノ法律ニ於テ政談集會ト稱フルハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス政治ニ関スル事項ヲ講談論議スル為公衆ヲ會同スルモノヲ謂フ政社ト稱フルハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス政治ニ関スル事項ヲ目的トシテ團體ヲ組成スルモノヲ謂フ

第二條 政談集會ニハ發起人ヲ定ムヘシ

政談集會ヲ開カントスルトキハ發起人ヨリ開會二十四時間以前ニ會場所在地ノ管轄警察官署ニ届出ヘシ

政談集會ノ届出ニハ左ノ事項ヲ記載シ發起人署名捺印スヘシ

一 集會ノ場所

大正十一年四月
限供締郵
紫書ハ第三集會
朱キハ警保局意見



二 集會ノ年月日時

三 發起人ノ氏名住所

前項ノ届出アリタルトキハ警察官署ハ直ニ其ノ領收証ヲ交付スヘシ

届出ニ記載シタル時刻ヨリ三時間ヲ過キテ開會セス若ハ三時間以上中断スルトキハ届出ノ効ヲ失フモノトス

法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ為開會所ノ集

ニ選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限リ會同スル

會ハ投票ノ日ヨリ前五十日間ハ第二項ノ届出ヲ要セス

第三條

屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ多衆運動セントスルトキハ發起人ヨリ二十四時間以前ニ會合スヘキ場所年月日時及其ノ通過スヘキ線路ヲ管轄警察官署ニ届出

認可

テ其ノ領收証ヲ受クヘシ但祭葬講社学生生徒ノ體育運動其他慣例ノ許ス所ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

屋外ニ於テ政談集會ヲ開キ又ハ政治ニ関ル意思ヲ表スルノ目的ヲ以テ公衆ヲ會同スルハ自由ノ交通ヲ遮断シタル地域内ニ限ルモノトス

警察官署ハ安寧秩序ニ妨害アリト認ムル時ハ何等ノ場合ニ拘ハラス屋外ノ集會又ハ多衆運動ヲ禁止スルコトヲ得

第四條

帝國議會開會ヨリ閉會ニ至ルノ間ハ議院ヲ距ル三里以内ニ於テ屋外ノ集會又ハ多衆運動ヲ為スコトヲ得ズ但シ第三條第一項ノ但書ハ本條ニ於テモ之ヲ適用ス

第中條

左に掲クル者ハ政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス
一 日本臣民ニ非サル者

二 公権剝奪又ハ停止中ノ者

第本條

左に掲クル者ハ政談集會ニ會同シ若ハ其發起人タルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍人

二 警察官

三 官立公立私立学校ノ教員、学生、生徒

四 女子

五 未成年者

法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ為ニ開ク所ノ集會ハ投票ノ日ヨリ前五十日間ハ本條ノ限ニ在ラズ

選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限リ依ルヲ要セス

第本條

政談集會ニ於テハ日本臣民ニ非サル者ヲシテ講

談論議者ヲラシムルコトヲ得ス

第本條

警察官署ハ制服ヲ著シタル警察官ヲ派遣シ政

談集會ニ臨監セシムルコトヲ得

發起人ハ臨監警察官ニ其ノ求ムル所ノ席ヲ供シ且集

會ニ関スル事項ニ付尋問アルトキハ之ニ答フヘシ

公眾ヲ會同スル集會ハ政談集會ニテラサルモ其狀況安寧秩序ヲ妨害

スルノ虞アリト認ムルトキハ第一項ノ臨監ヲ為スコトヲ得

第本條

集會及運動ニハ武器又ハ兇器ヲ携帶シテ會同ス

ルコトヲ得ス但制規ニ依リ武器ヲ携帶スル者ハ其ノ限ニ在ラス

第本條

集會ニ於テ罪犯ヲ曲庇シ又ハ刑律ニ觸レタル者若ハ刑

事裁判中ノ者ヲ救護シ又ハ賞恤シ又ハ犯罪ヲ教唆スルノ談議ヲ為スコトヲ得ス

第十條 會場ニ於テ故ラニ喧擾ヲ為シ又ハ狂暴ニ渉ル者アルトキハ
 警察官ハ之ヲ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ會場外ニ退出セシムルヲ得
 第十一條 集會ニ於テ講談論議安寧秩序ニ妨害アリト認ムルト
 キハ警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ停止スルコトヲ得
 第十二條 警察官ハ左ノ場合ニ於テ集會ノ解散ヲ命スルコトヲ得
 一 集會ノ成立共ノ法律ニ背キタルトキ
 二 警察官ノ臨監ヲ拒ミ又ハ其ノ求ムル所ノ席ヲ供セス又
 ハ其ノ尋問ニ答ヘサルトキ
 三 會衆騷擾ニ涉リ警察官之ヲ制止スルモ鎮靜セサルト
 キ
 四 第五條第八條ノ違犯者多數ニシテ警察官ヨリ退場
 ヲ命スルモ其ノ命ニ從ハサルトキ

第十條 第二條 第三條ノ届出ヲ為セ^{スシテ政談集會ヲ開キタルトキハ}
 以上三十円以下ノ罰金ニ処ス其届出ヲ為スモ實ヲ以テセサ
 ルトキハ罰亦同シ
 第十五條 第三條ノ認可ヲ受ケスレテ集會若クハ運動ヲ為シタルトキハ
 發起人ヲ五十円以上五十円以下ノ罰金ニ処ス
 第十六條 第四條ヲ犯シタルトキハ發起人ヲ十一日以上六月以下ノ輕禁錮
 又ハ二十円以上百円以下ノ罰金ニ処ス
 第十四條 第四條第七條ヲ犯シタル者ハ二十円以上二十円以下ノ罰
 金ニ処ス
 第七條 第七條ヲ犯シタル發起人又ハ政談集會ニ會同スルコトヲ得サル者
 ヲ勸誘シテ會同セシメタル發起人ハ罰前項ニ同シ

第十八條

第十九條ヲ犯シタル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ

五円以上五十円以下ノ罰金ニ処ス

第十九條

第二十條ヲ犯シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ

円以上百円以下ノ罰金ニ処ス

第三條第三項ノ禁止ノ命ニ從ハサル者又ハ

第二十條

警察官ヨリ解散ヲ命セラレタル後仍解散セサル者又ハ

退出ヲ命セラレタル後仍退出セサル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ

二円以上二十円以下ノ罰金ニ処ス

第二十一條

政社ニシテ社員名簿ヲ備ヘ及役員ヲ置クヘシ

政社ハ組成後三日以内ニ其ノ役員ヨリ社名社則事務所及役員氏名ヲ其ノ事務所所在地ノ管轄警察官署ニ届出ヘシ其届出ニ変更アリタルトキ亦同シ

役員ハ其ノ政社ニ関ル事項ニ付警察官ヨリ尋問

アリタルトキハ之ニ答フヘシ

第十九條

政社ニシテ政談集会ヲ開クトキハ第二條ノ

手續ヲ爲スヘシ但會場ヲ豫定シテ定期ニ集會ス

ル者ハ之ヲ初期ニ届出ツルトキハ尔後ノ例会ハ届出

ヲ要セス其ノ届出ノ事項ニ変更アリタルトキハ仍

第二條ノ手續ニ依ルヘシ

第二十二條

左ニ掲クル者ハ政社ニ加入スルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備陸海軍人

二 警察官

三 官立公立私立学校ノ教員学生生徒

四 女子

五 未成年者

六 公権剥奪又ハ停止中ノ者

第二十^四條 政社ニハ日本臣民ニ非サル者ヲシテ加入セシムルヲ得ス

第二十五條 政社ニ於テハ法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ニ對シテ其ノ發言評決ニ付議會外ニ於テ責任ヲ負ハシムルノ規定ヲ設クルコトヲ得ス

第二十^六條 政社ニシテ支社ヲ設クルトキハ總テ政社ノ規定ニ依ル

第二十^七條 結社ニシテ安寧秩序ニ妨害アリト認ムルトキハ内務大臣ハ之ヲ禁止スルコトヲ得

第二十^八條 第二十^七條ニ違フトキハ其ノ役員ヲ五円以上五十円以下ノ罰金ニ処ス

第二^九條 届出ヲ為スモ實ヲ以テセス又ハ尋問ヲ受ケテ答ノルニ實ヲ以テセサル役員ハ罰前項ニ同シ

第二十^五條 第二十^三條ニ背キ入社シタル者及入社セシメタル役員ハ二円以上二十円以下ノ罰金ニ処ス

第二十^七條 第二十^七條ヲ犯シタル役員ハ罰前項ニ同シ

第二十^六條 第二十^五條ニ禁止ノ命令ニ従ハムシテ仍結社ノ實アル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮又ハ二十円以上百円以下ノ罰金ニ処ス

第二十^七條 此法律ヲ犯シタル者ハ刑法ノ自首減輕再犯加重教罪俱發ノ例ヲ用ケス

第二十^八條 此法律ニ關ルニ訴ノ時効ハ六箇月トス

第二十^九條 法律命令ノ定ル所ノ集會ハ此ノ法律ニ依ルノ限ニ在ラス

附則

第三十條 明治二十六年法律第十四号集會及政社法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス